

ラグビー世界一決定戦。 ラグビーワールドカップ、 9月に開催!

財団法人日本ラグビーフットボール協会



2007年のRWC

©2011.JRFU(photo by N.Nagaoka)

◆4年に1度の世界一決定戦。

9月9日より、ラグビー王国・ニュージーランドにて7回目となる「ラグビーワールドカップ(RWC)2011」が開催されます。この大会は、1987年に始まり、サッカーワールドカップと同じく4年に一度のペースで行われています。前回フランスで行われた大会では、総観客数が225万人、テレビ観戦者数40億人という大規模な大会となり、いまや夏季オリンピック、サッカーワールドカップに続く世界の三大スポーツイベントに成長しました。

ラグビー日本代表は、アジア代表として7大会連続出場を果たしていますが、戦績は、1991年の第2回大会でジンバブエ代表を破った1勝のみ。前大会では、一次リーグで、その後ベスト8に進出するフィジー



©2011. JRFU(photo by K.Demura RJP)

選手に熱く指導するJK

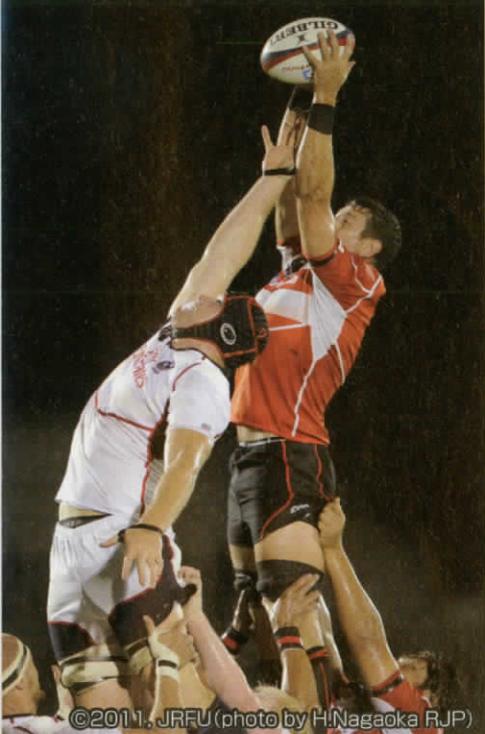
と死闘を繰り広げながら惜敗。カナダ代表との引き分けで、なんとか全敗は免れましたが、6大会連続で一次リーグ敗退となりました。

今大会では、20年ぶりの勝利と、史上最高の戦績「2勝以上」を目標におき、ジョン・カーワンヘッドコーチ(愛称JK)の下、強化を図っています。

◆「ジャパンスター」で世界に挑む。

日本代表は、2007年大会から4年間をかけて着実にレベルアップしてきました。その成果を見せたのは、本年7月上旬に日本とフィジーで開催された「IRBパシフィック・ネーションズカップ」(PNC)でした。7月3日に秩父宮ラグビー場(東京都港区)で行われたサモアとの初戦こそ敗れたものの、フィジーに場所を移してのトンガ戦、フィジー戦では80分途切れることのない集中力で快勝。フィジカルでは世界トップクラスと言われるトンガ、サモア、フィジーに対し、素早いテンポでボールを動かす「ジャパンスター」で堂々と渡り合い、6年目にして初めてPNCで優勝を飾りました。この結果、IRB(国際ラグビーボード)の世界ランキングも一時的ではありませんでしたが、12位まで上昇いたしました。世界のベスト8を目指す日本代表にとっては価値ある優勝でした。

「ジャパンスター」とは、体格



©2011, JRFU (photo by H.Nagaoka RJP)

とパワーで、海外の列強には劣る日本代表が、日本人特有の「素早さ」、「低さ」を最大限に生かすスタイルです。外国人選手は日本人選手の低く、しつこく前に出てくるタックルを嫌がります。海外の巨漢選手は低い姿勢になるのが苦手なのです。これに、テンポ良く展開するスピイディーな組織プレーを織り交ぜるスタイルは、ユースレベルの代表カテゴリーにも一貫指導体制として取り入れられています。

RWCでも、「ジャパンスタイル」がどこまで通用するのかが見どころの一つとなります。もう一つの見どころは、外国籍選手でもその国に3年居住すれば代表になれるというラグビー独特のルールでしょう。一目見て違和感をもたれる方がいるかもしれませんが、日本代表には外国籍選手や日本に帰化した「日本人」となった選手が多く存在します。2カ国にわたって代表になれる国際ルールの中で、彼らは、ともに戦って仲間がいる日本を選びました。国籍を取

「日本スタイル」を確立しレベルアップしているラグビー日本代表

戦の地、NZへ出発します。

この2戦でさらなる進化を遂げた日本代表は、JKジャパンの集大成として、RWCで世界の強豪国に挑戦します。目標である2勝以上が達成されれば、RWC2015年大会、そしてアジアで初開催となる日本の2019年大会に大きな手応えを感じることができそうです。

得してまで戦いたいというのは、日本人の心とプライドを持って戦いたいという心意気なのです。

この選手たちの気持ちのこもったプレーが、日本人選手たちに大きな刺激となりチーム内のメンバー争いやスキル向上に繋がっていることは間違いありません。日本でプレーしている選手は国籍や民族に関係なく仲間です。RWCで「2勝」を目指す日本代表にとっては、この選手たちの力はなくてはならないのです。

その熱いプレーぶりにも、どうぞ注目ください。

◆NZへ。
そして、2019年日本大会へ。

RWCを目前に控えた日本代表は、9月9日の開幕に向け、PNC優勝から休む間もなくイタリアへ渡りました。ここで強化合宿を行い、イタリア代表とのテストマッチを実施し、RWC前の最終戦となるアメリカ代表戦（8月21日 リポビタンDチャレンジ2011）を経て、決

インフォメーション

ラグビー日本代表のウェブサイトとフェイスブックがオープンしました。

- ラグビー日本代表公式ウェブサイト
<http://sakura.rugby-japan.jp/>
- ラグビー日本代表公式フェイスブック
<http://www.facebook.com/Rugby.Japan>

2015年には「世界ランキンング10位内」、2019年の日本大会では、ラグビーワールドカップベスト8は現実的な目標です。2011年大会で勝利し、世界に通用するラグビーを日本のファンや子供たちに見せることができれば、将来、日本代表を目指す子供たちも増えることになるでしょう。日本ラグビーの未来を背負った選手たちのがんばりに、どうぞご期待ください。



©2011, JRFU (photo by K.Demura RJP)

パシフィック・ネーションズカップ初優勝



©2011, JRFU (photo by H.Nagaoka)

2007年RWC 様々な国の人が日本を応援してくれた